



女子決勝・浦添一陽明 前半、浦添の宮城美季が守備の上からシュートを放つ＝八重瀬町東風平運動公園体育館（富山学撮影）

2年生支え 1年生得点

女子浦添は、一昨年末のJOCジュニアオリンピック出場の人を含む1年生メンバーが大活躍。30点のうち、27点は1年生だった。

序盤に陽明のシュートが精度を欠く中、宮城美季のサイド攻撃などで主導権を握ると、守備も尻上がりに良くなった。喜舎場淳一監督は「守備とGKが連携して止めてくれた。夏に向けて自信になる」と、GK大城美海と3得点の奥平有里可主将の2人の2年生がチームを支

え、1年生たちが最前線で得点したパラオンスの良い展開に満足。今回、既に夏のシード権を得ている那覇西は出場しなかったが、それでも実力伯仲の県内上位争いを制した。スカイプレーを決めた安里こころは「全国選抜を経験してくる那覇西にここまで通用するか。もう一度優勝したい」、主将も「総体では那覇西とやりたい」と、夏にあらためて県内最強の座に挑む。

（富山学）

コザ男子 浦添女子 が優勝

KBC杯ハンド

ハンドボールの第3回KBC学園杯争奪第37回県高校春季選手権（主催・県ハンドボール協会、共催・沖縄タイムス社ほか）最終日

は17日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われ、男子決勝はコザが那覇西を31-24、女子は浦添が陽明を30-19で下して優勝した。

3位決定戦男子は昭葉付、女子はコザが制した。

男子	コザ	31	1516	24	那覇西
女子	浦添	30	1214	1012	陽明



男子決勝・コザ一那覇西 前半、コザの玉榮悠主将がシュートを放つ

コザ 25 1015 1210 22 浦添商

▽決勝

浦添 30 1713 1019 19 陽明

得点源となった平良圭や我如古龍生、平良一功ら1年生の主力の多くはコザJrで小学生時代から一緒だったメンバー。最多8得点の平良圭は「息はピッタリ合っていると思う」とチームワークに自信。2年の玉榮悠主将は「中盤に緩んだ場面があった。県総体までに修正して興南に勝ちたい」と話した。

出だし抑え 主導権握る
男子コザは前半の開始6分間を無失点、後半も7分間で1失点と出だしで那覇西の攻撃を抑え、最後まで主導権を握り続けた。2月の九州高校選抜で試合の入り方を失敗した経験が生き、神里太監督は「興南がいなくても気を抜かず、初戦から集中できていた」。